

後援会の事業

令和2年度事業報告

1. 会員数

昭和第一学園後援会の会員数合計1,866名（未納者を除く）。内訳（保護者人数、1年生535名、2年生515名、3年生574名。合計1,624名の内、兄弟姉妹、18組の人数を除く1,606名）。個人会員207名、法人会員53先（3月31日現在の会員数）。

2. 令和2年度の収入

令和2年度は1,606名の保護者・207名の個人・53団体の法人の各会員から22,145,000円の会費と、前年度からの繰越金4,011,437円、他利息493円を合わせて26,156,930円の収入。

3. 学園への支援

1) 助成費

令和2年度の助成費は、14,000,000円で、メインランド人工芝張替工事資金にあてた。

本年は新型コロナウイルス感染対策の為、ほとんどの事業ができなくなったので、急遽補正予算を組み、生徒たちのインターネット環境の整備の為「学修環境支援金」の補助として本会計から1,200,000円、育英事業基金からグローバル奨学金（海外語学研修中止の為）にあてた予算2,000,000円、合計3,200,000円を学園に助成した。

2) 事業費

① 体育文化活動費補助（予算2,500,000円）

強化指定部（野球部・ハンドボール部・陸上競技部）・特別奨励部（自動車研究部・吹奏楽部）の活動資金として2,500,000円を助成した。

② 菊葉祭食券（補正予算0円、当初予算300,000円）

新型コロナウイルス感染症対策ため菊葉祭の開催は中止となり、食券配布はなかった。

③ 賀詞交換会（補正予算0円、当初予算50,000円）

賀詞交換会は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催がなかった。

④ 講堂兼体育館建設募金（予算400,000円）

創立80周年記念事業として、後援会としても趣意に賛同し、今年は400,000円の寄付を行った。

⑤ 運営費（補正予算100,000円、当初予算600,000円）

新型コロナウイルス感染症対策のため、後援会活動（さくら会手作り教室・エコランカー応援ツアー・高尾山薬王院公開講座・八王子いちょう祭り・クリスマスコンサート等）が行えず、支出はなかった。

⑥ 広報活動

菊葉リレーションズは、第37号を発行。

ホームページの活用により、後援会加入の申込をホームページから受け付ける件数が増加し、通信費、返信封筒の印刷費の削減につながっている。

4、育英事業基金

奨学金の原資である育英事業基金は、令和1年度の繰越金 7,171,415 円と令和2年度の繰入金 2,000,000 円、緊急支援奨学金の返還額 240,000 円と預け入れ利息 523 円を加えた、9,411,938 円が決算額である。

育英事業基金は、緊急支援奨学金 0 円。成績優秀奨学金、1,096,700 円、グローバル奨学金は学修環境支援金の一部に変えて 2,000,000 円。

合計 3,096,700 円、事業費として支出した。

緊急支援奨学金の貸付残高は 444,400 円、貸付人数は 3 名。

成績優秀奨学金（返済不要）を 1,096,700 円支給した。

- ・クラブ活動の成績優秀奨学金は該当なし。

（活動、大会が実施されなかったため）

- ・英検 2 級以上合格者への受験料補助

英検受験者数も増え、準1級 9 名、2 級 37 名、合計 291,700 円の補助をした。

- ・大学受験料補助

校長の推薦による 9 名が希望し、805,000 円支給した。

グローバル奨学金を予定していた 2,000,000 円については、コロナウイルス感染症対策の「学修環境支援金」の一部に充当した。

上記の結果育英事業基金の残高は、6,315,238 円となった。

令和2年度 英検2級以上合格者への受験料補助

年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
準1級	0人	1人	9人
受験料補助金額		7,600円	72,600円
2級	15人	34人	37人
受験料補助金額	81,000円	189,000円	219,100円
合計額	81,000円	196,600円	291,700円



令和2年度 大学受験料補助の支給・合格状況

昭和第一学園後援会奨学金規程第13条「成績優秀奨学金」に基づき、学業、とりわけ大学進学実績において本校の知名度を高めることが期待される生徒に対して、令和2年12月25日に大学受験料補助の授与式が行われた。当日は生徒、担任、後援会会長、後援会事務局長、校長、進路指導部長、法人事務局長、出席のもと、会長より目録が手渡され、振込にて支給した。

組	生徒	補助金で受験した大学・学部名						補助金	進学先
			合格		否		否		
1	1組 A	麻布(獣医)	合格	日本獣医生命科学(獣医)	否	明治(農)	否	105,000	麻布大学(獣医)
2	1組 B	明治(全学部)	合格	明治(農)	合格	中央(理工)	否	105,000	東京農工大学(農)
3	1組 C	立教(コミュニティ福祉)	合格	法政(スポーツ健康)	合格	青山(文)	否	105,000	都留文科大学(英文)
4	1組 D	青山(理工)	否	法政(理工)	否	中央(理工)	否	105,000	明治大学(理工)
5	1組 E	早稲田(国際教養)	否	立教(異文化コミュ)	否	上智(外国語)	合格	105,000	上智大学(外国語)
6	1組 F	上智(総合人間)	否	法政(法)	否	中央(国際経営)	合格	105,000	中央大学(国際経営)
7	4組 G	早稲田(商)	否	早稲田(教育)	否	明治(経営)	否	105,000	明治大学(政治経済)
8	5組 H	法政(社会)	否					35,000	武蔵大学(人文)
9	5組 I	中央(文)共通テスト利用	否	中央(文)	否			35,000	専修大学(人間科学)
						合計		805,000	



令和3年度事業計画

1、収入の部

昭和第一学園高等学校の令和3年度入学生数は、566名、2年生521名、3年生504名で、保護者会員1,570名（1588名の内兄弟姉妹18組と仮定）、一般個人会員212名（昨年度人数に新入会員を足した数字）、法人会員53先を加えた後援会会員数は1,835名になる。

予算案の会費収入としては、保護者会員1,570名×12,000円＝18,840,000円と個人法人265名分2,940,000円を足し21,780,000円と見込んだ。前年度からの繰越が6,486,157円と合わせ、トータルで前年度予算比2,145,720円増の28,266,157円となる。

2、学園への支援

1) 助成金

学園への助成金は、14,000,000円を計上。この金額は人工芝張替工事にあてられる予定。

この助成費に、体育文化活動費補助2,500,000円、講堂兼体育館建設募金400,000円、今年度はさらに、講堂兼体育館の椅子の寄贈の一部として3,000,000円を助成する。

2) 事業費

ア) 体育文化活動補助

事業費のうち、体育文化活動補助は、2,500,000円（昨年度と同額）を計上した。体育文化活動補助は、強化指定部（野球部・ハンドボール部・陸上競技部）特別奨励部（自動車研究部・吹奏楽部）の活動に使用される。

イ) 菊葉祭食券

- 菊葉祭文化祭、9月18日(土)・19日(日)予定。保護者会員・一般会員の来場者に配布し、模擬店などで使用できる。1枚150円の食券を2000枚分300,000円計上する。
- ウ) 賀詞交換会の祝金は、50,000円を計上した。
- エ) 講堂兼体育館建設募金は、令和4年3月までの募集期間なので、昨年同様400,000円計上する。
- オ) 運営費は、デジタル化などのコロナ対応を考えた運営を予定し、600,000円から1,000,000円と増額の予算を計上する。
- カ) その他、野球部応援費用等として100,000円計上する。
- 3) 総務費は、残高証明書発行手数料、冠婚葬祭費等、そして今年は同窓会館祝金も含め200,000円計上する。
- 4) 交際費は50,000円計上する。
- 5) 事務費はホームページ保守点検料、レンタルサーバー料等、事務用品等として300,000円計上する。
- 6) 会議費は、役員会、打合せとして100,000円計上する。
- 7) 印刷費は、会報「菊葉リレーションズ」の発行、封筒等の印刷として、600,000円計上する。
- 8) 通信費は切手はがきなどの郵送費、振込手数料、口座徴収料等に250,000円計上する。
- 9) 育英事業基金の積み増しは2,000,000円を積み増し、以下の内容で運用計画する。

3、育英事業基金

育英事業基金の今年度期首残高は、6,315,238円だが、昨年度同様に2,000,000円を組み入れ、以下の内容で計画する。

①緊急支援奨学金

就学支援金や授業料軽減助成金等、国や東京都の奨学制度の充実により、この奨学金の申込は減っているが、本奨学金の性格上緊急に備え150,000円計上する。

②成績優秀奨学金(給付)

成績優秀者奨金の合計は1,717,000円計上する。

- ・部活動成績優秀者に300,000円
- ・大学受験料補助は、一人3大学105,000円×10名分 1,050,000円
- ・英検2級以上合格者への受験料補助

合格者の増と受験料値上がりで、

2級受験料6,500円×40人(260,000円)

準1級受験料10,700円×10名(107,000円)を見込み

合計367,000円

③「グローバル奨学金」(給付)

今年はずでに募集中止が決まったため、講堂兼体育館の椅子の寄贈の一部にあてることとする。